本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

P

USER'S GUIDE
2337・2338＊JA

CASIO

このたびは弊社製品をお買い上げくださいまして誠にありがとうございます。
末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。
なお、この取扱説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

安全上のご注意

絵表示について

この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています。（左の例は感電注意）

⃠記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています。（左の例は分解禁止）

●記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています。（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）

⚠警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。
※ 本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。
①金属・皮革に対するアレルギー
②時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
③体調不良等

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行なってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。

時計着脱の際に、中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

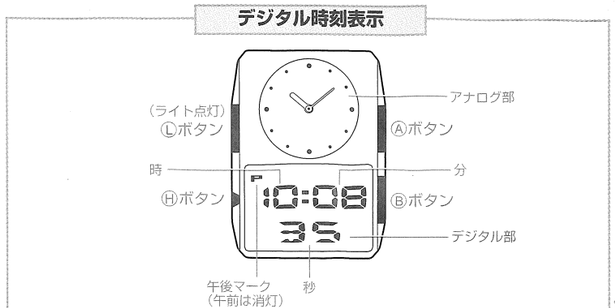
分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。

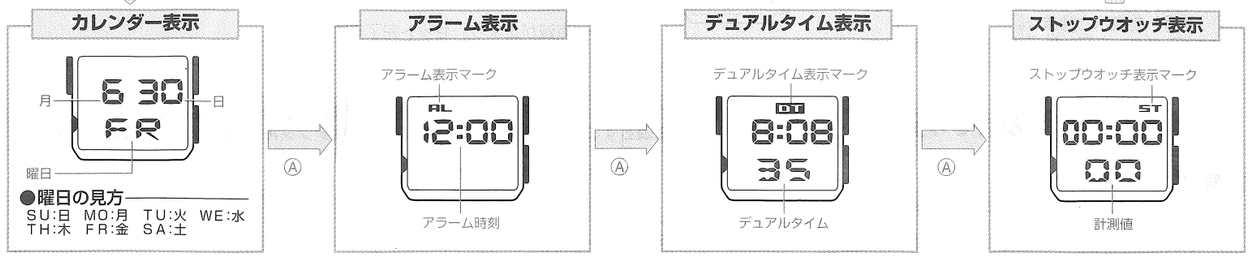


操作のしくみと表示の見方

Ⓐ ボタンを押すごとに以下の順でデジタル部の表示が切り替わります。



Ⓐ ※以下、アナログ（針）部省略



■ 表示照明用 EL バックライトについて

どの表示のときでも、Ⓛ ボタンを押すと文字板が約２秒間発光します。

※モジュール 2337 はデジタル部が発光し、モジュール2338はアナログ部とデジタル部が発光します。（モジュール番号は時計本体裏面に刻印されています）



<モジュール2337>

＜ご注意＞

- 直射日光下では、発光が見えにくくなります。
- 発光中に電子音が鳴ると発光を中断します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

デジタル時刻の合わせ方

電池交換後などで、時刻が合っていないときは、以下の方法でセットします。

準備：Ⓐ ボタンを押して「デジタル時刻表示」にします。

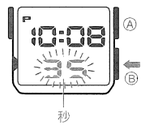
「デジタル時刻表示」のとき、Ⓑ ボタンを約2秒間押し続けると、「秒」が点滅します。以後、Ⓑ ボタンを押すごとに以下の順で点滅が移動します。

※点滅表示のまま１～２分間すると自動的に点滅が止まります。

(1)「秒の合わせ方」…30 秒以内の遅れ／進みの修正

月に一度くらい秒合わせをしていただくと時刻はいつも正確です。

Ⓑ ボタンを約２秒間押して「秒」を点滅させます



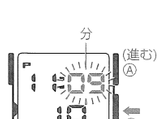
➡「秒」が点滅しているとき、Ⓐ ボタンを押すと「00 秒」からスタートします。

※「秒合わせ」後、Ⓑ ボタンを４回押すと、点滅が止まります。

秒が 00～29 のときは切り捨てられ、30～59 のときは１分繰り上がって「00 秒」になります。（時報は「時報サービス 117 番」が便利です）

(2)「時」のセット

「秒合わせ」後、Ⓑ ボタンを押して「時」を点滅させます



➡「時」が点滅しているとき、Ⓐ ボタンを押すと数字が１つずつ進みますので、合わせたい「時」を表示させます。

※Ⓐ ボタンを押し続けると早送りします。

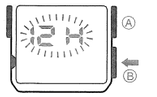
(3)「分」のセット

「時」セット後、Ⓑ ボタンを押して「分」を点滅させます

➡「分」も「時」と同様に Ⓐ ボタンでセットします。

(4) 12／24 時間制の切り替え

「分」セット後、Ⓑ ボタンを押します



➡12／24時間制表示の切り替えとなり、Ⓐ ボタンを押すごとに表示が切り替わります。

(5) **セットが終わりましたら、Ⓑ ボタンを押します**

➡ 点滅が止まり、セット完了です。

アナログ（針）部の合わせ方

デジタル部がどの表示のときでも、

Ⓗ ボタンを先のとがった棒で押します

➡Ⓗ ボタンを押すごとに 1/3分（20秒）ずつ進みますので、合わせたい時刻を表示させます。

※押し続けると早送りします。

※分針はデジタル時刻の秒が 00 秒、20 秒、40 秒になったときに 1/3分（20秒）ずつ進みます。



製品仕様

水晶発振周波数	32,768Hz
精度	平均月差±30秒以内
基本機能	アナログ部…時・分（2針） デジタル部…時刻表示＝時・分・秒、午前／午後（P）／24時間制表示 カレンダー表示＝月・日・曜日、オートカレンダー
アラーム機能	時刻アラーム　セット単位＝分　電子音＝20秒間 時報　毎正時に２回電子音で報時
デュアルタイム機能	表示内容＝時・分・秒、12/24 時間制表示切り替え
ストップウオッチ機能	計測単位＝1/100秒　計測範囲＝59分59秒99(60分計) 計測機能＝通常計測、積算計測
その他	自動復帰機能、12/24 時間制表示切り替え、 EL（エレクトロルミネッセンス）バックライト
主要回路素子	音叉型高性能水晶振動子　ワンチップCMOS-LSI
使用電池	SR721W（電池別途販売）
電池寿命	約２年 （１日あたりライト２秒間使用した場合）

カレンダーの合わせ方

カレンダーは大の月、小の月を自動判別するオートカレンダーですので、電池交換時およびうるう年の２月29日以外の修正は不要です。

準備：Ⓐ ボタンを押して「カレンダー表示」にします。

「カレンダー表示」のとき、Ⓑ ボタンを約２秒間押し続けると、「月」が点滅します。以後、Ⓑボタンを押すごとに以下の順で点滅が移動します。

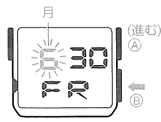


※点滅表示のまま１～２分間すると自動的に点滅が止まります。

(1)「月」のセット

Ⓑ ボタンを約２秒間押して「月」を点滅させます

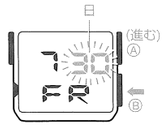
➠「月」が点滅しているとき、Ⓐ ボタンを押すと数字が１つずつ進みますので、合わせたい「月」を表示させます。
※Ⓐ ボタンを押し続けると早送りします。



(2)「日」のセット

「月」セット後、Ⓑ ボタンを押して「日」を点滅させます

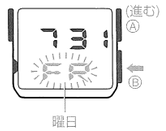
➠「日」も「月」と同様にⒶ ボタンでセットします。



(3)「曜日」のセット

「日」セット後、Ⓑ ボタンを押して「曜日」を点滅させます

➠「曜日」も「月」と同様にⒶ ボタンでセットします。



(4) セットが終わりましたら、Ⓑ ボタンを押します

➠点滅が止まり、セット完了です。

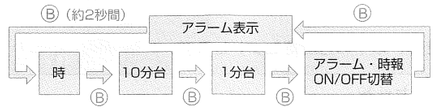
アラーム・時報の使い方

アラームは分単位でセットでき、セットした時刻になると20秒間電子音で知らせてくれます。
また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。(アラーム・時報はデジタル時刻にしたがって鳴ります)

■ アラームのセット

準備：Ⓐ ボタンを押して「アラーム表示」にします。

「アラーム表示」のとき、Ⓑ ボタンを約２秒間押し続けると、「時」が点滅します。以後、Ⓑ ボタンを押すごとに以下の順で点滅が移動します。

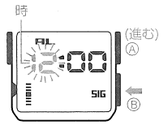


※点滅表示のまま１～２分間すると自動的に点滅が止まります。

(1)「時」のセット

Ⓑ ボタンを約２秒間押して「時」を点滅させます

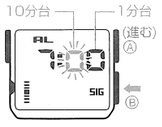
➠「時」が点滅しているとき、Ⓐ ボタンを押すと数字が１つずつ進みますので、合わせたい「時」を表示させます。
※Ⓐ ボタンを押し続けると早送りします。
※「時」の午前／午後（P）にご注意ください。
※デジタル時刻を24時間制にしているときはアラーム時刻も24時間制で表示されます。



(2)「10分台」のセット

「時」セット後、Ⓑ ボタンを押して「10分台」を点滅させます

➠「時」と同様にⒶ ボタンでセットします。



(3)「1分台」のセット

「10分台」セット後、Ⓑ ボタンを押して「1分台」を点滅させます

➠「時」と同様にⒶ ボタンでセットします。

(4) アラーム・時報を鳴らすには

分セット後、Ⓑボタンを押すとアラーム・時報のON／OFF切り替えとなります

➠このとき、Ⓐ ボタンを押すごとに、アラーム・時報の ON／OFF が切り替わります。
※各マークとも点灯しているとON、点灯していないと OFF となります。



(5) セットが終わりましたら、Ⓑ ボタンを押します

➠点滅が止まり、セット完了です。

■ 鳴っている電子音を止めるには

鳴っている電子音を止めるには、いずれかのボタンを押します。

■ デモアラーム（アラーム音を選ぶ）

どのモードのときでもⒶボタンを押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。
※Ⓐ ボタンを押し続けるごとに、電子音が４段階で切り替わりますので、お好きな音を選べます。

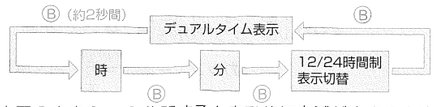
デュアルタイムの使い方

デュアルタイムとは現在時刻とは別に海外時刻などもう１つの時刻をセットできる機能です。
※秒はデジタル時刻と連動しています。

■ デュアルタイムのセット

準備：Ⓐ ボタンを押して「デュアルタイム表示」にします。

「デュアルタイム表示」のとき、Ⓑボタンを約2秒間押し続けると、「時」が点滅します。以後、Ⓑボタンを押すごとに以下の順で点滅が移動します。

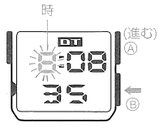


※点滅表示のまま１～２分間すると自動的に点滅が止まります。

(1)「時」のセット

Ⓑ ボタンを約２秒間押して「時」を点滅させます

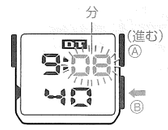
➠「時」が点滅しているとき、Ⓐ ボタンを押すと数字が１つずつ進みますので、合わせたい「時」を表示させます。
※Ⓐ ボタンを押し続けると早送りします。



(2)「分」のセット

「時」セット後、Ⓑ ボタンを押して「分」を 点滅させます

➠「分」も「時」と同様にⒶ ボタンでセットします。



(3) 12/24 時間制の切り替え

「分」セット後、Ⓑ ボタンを押します

➠12/24時間制表示の切り替えとなり、Ⓐボタンを押すごとに表示が切り替わります。



(4) セットが終わりましたら、Ⓑ ボタンを押します

➠点滅が止まり、セット完了です。

ストップウオッチの使い方

ストップウオッチは59分59秒99（60分計）まで計測でき、以後自動的に０に戻って計測し続けます。

■ 計測のしかた

準備：Ⓐ ボタンを押して「ストップウオッチ表示」にします。

Ⓑ ボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします

★計測終了後、Ⓑ ボタンを約２秒間押すと計測値が０に戻ります。（リセット）



●通常計測

Ⓑ スタート → Ⓑ ストップ → Ⓑ（約2秒間） リセット

●積算計測（ロスタイムのある計測）

Ⓑ スタート → Ⓑ ストップ → Ⓑ 再スタート → Ⓑ ストップ → Ⓑ（約2秒間） リセット

ご使用上の注意

防水性

● 表面または裏蓋に WATER RESIST または WATER RESISTANT と表示されているもの。

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

※BARは気圧の意味で、防水性の高さを表わします。
※専門的な潜水＝スキューバダイビング（アクアラング）でのご使用はお避けください。

● 表面または裏蓋に WATER RESIST または WATER RESISTANT と表示されていないもの。
防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

● 防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。
● 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
● 防水性を保つために定期的（２～３年を目安に）なパッキン交換をおすすめします。
● 電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。（特殊な治具を必要とします）
● 防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事、水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

バンド

● バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
● 樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。
● 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単にふきとることができます。

温度

● 自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり止ったりすることがあります。
● ＋60°C以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

ショック

● 通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると故障の原因になります。

磁気

● (JIS1 種耐磁時計) 本機は磁気の影響を受けにくい構造をとってありますが、強い磁気を発生する器具に密着、あるいは近づけることはお避けください。強い磁気の影響を受けると一時的に進み遅れが生じることがあります。

薬品類

● 水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

保管

● 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■ お手入れについて

お手入れのしかた

● 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは、吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。
● 金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

お手入れを怠ると

● 「サビ」
- ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
  ※汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。

● 「劣化」
- 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。

● 「かぶれ」
- 皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。
- 万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。
- 特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れするか、金属バンドのご使用をおすすめします。

■ 蛍光商品のお取り扱いについて

蛍光部品のケース／バンドを使用しているものは、以下の点にご注意ください。

- 長時間、直射日光に当てますと、色あせする場合があります。
- 長時間、濡れたままにしておくと色がおちるおそれがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。
- 長時間、他の商品と密着させたり、濡れたまま他の商品と一緒にしておくと、他の商品に色が移行することがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、密着保存を避けてください。
- プリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。

■ 塗装商品のお取り扱いについて

塗装部品を使用しているものは、以下の点にご注意ください。

- 塗装部品は使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗したり、色落ちすることがあります。
- 塗装部品の交換は、最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。実費にて申し受けます。

■ 電池交換について

最初の電池

● 工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
※なお電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

消耗

● 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
● 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

電池交換

● 電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申しつけください。
● 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
● 電池交換の際、防水検査を行ないます。（防水検査は別途有料となります）

■ 液晶パネルの交換について

液晶パネルは約７年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

■ EL パネル（表示照明部）の交換について

表示照明用として本機に使用している EL パネル（エレクトロルミネッセンスパネル）は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見える場合があります。このようなときにはお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。